

全国協議会 ニュース

2006年8月1日発行
第170号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

骨髄移植推進財団

17年度の収支差額は 1億円以上

患者負担金軽減と職員給与の見直しへ

移植件数の増加等により平成17年度一般会計決算における収支差額が1億円を上回ったこともあり、骨髄移植推進財団では患者負担金の軽減を行うとともに、必ずしも適正とは言えない、職員給与と制度も見直すことを決めた。

患者負担金は、ドナー確認検査手数料がドナー候補者1名あたり現行の1万2千円から9千円へと、3千円値下げされる。

この手数料は、昨年7月にも、それまでの1万5千円から3千円減額されている。財団はこれまで明快な表現を用いた解説を行っていただけなかったが、患者確認検査料の消費税分、ドナー確認検査(一般血液検査)料の値上げ分、一部のコーディネーターにおけるドナー本人確認検査料などを、財団負担としており、これらは実質的に患者負担金の軽減となっている。しかし、これらの原資は、そのすべてを患者負担金軽減積立金に負っているため、移植件数等がおおむね現状で推移し、他の財源等による手当てが行われなければ、積立金が枯渇する時点(試算では平成22年)で、増額を検討する事態もありうる。患者負担増大の回避、そしてさらなる軽減のためにも、国庫補助の拡大、そして医療保険の全面適用が強く望まれる。

ファミリアゴルフフェスタスタート

7月15日、ゴルフダイジェスト、ブルデンシャル生命(株)主催の「ファミリアゴルフフェスタ」が長野県軽井沢72ゴルフコースで開催されました。

このイベントは、全国6ヶ所で開催され、参加費の一部と

当日は、この時期の湿気から開放された爽やかな天候のなか約70組(160名)の家族が参加し、東京の会のボランティアア5名が骨髄バンクPRにあやちゃんの絵を数枚クラブハウスに展示し、うちわを配り、募金活動も行いました。



心からのご寄付に感謝申し上げます

6月20日~7月17日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
株式会社サクラホーム	現金	10,000円
可児東ライオンズクラブ	現金	19,929円
スーパーパーソンズ エンタテイメント	現金	1,000,000円
国際ソロプチミスト 東京一けやき	現金	10,000円
匿名	現金	4,550円
匿名	現金	30,000円
匿名	現金	15,160円
櫻井康司	現金	20,000円
吉本哲也	現金	1,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
切明 蹊	現金	5,000円
徳田ひろみ	現金	1,600円
一柳樹樹・美樹・道徳	現金	15,000円
須藤勝巳	現金	16,313円
鈴木純子	現金	1,340円
寺下智子	現金	3,000円

●佐藤きち子患者支援基金

垂井町立不破中学校3年E組	現金	92,021円
骨髄バンク、GATHERの会	現金	14,942円
切明 蹊	現金	5,000円
匿名	現金	100,000円

●白血病患者支援基金

船橋駅前商店会	現金	25,655円
---------	----	---------

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

チャリティオークションでの収益を「佐藤きち子患者支援基金」に寄付していただけることになっていきます。

今後の開催は、8月5日リージャスorestゴルフクラブ・ロイヤル(広島県) 8月18日花屋敷ゴルフ倶楽部・よかわコース(兵庫県) 9月3日グ

三菱ウェルファーマ株式会社
http://www.m-pharma.co.jp

創薬力

「ハローキティうちわ」ができました。



ハローキティのうちわができました。今回は鮮やかなピンクが基調の一段と可愛いデザインになっています。夏祭り、秋祭りでのご普及啓発活動や募金活動にぜひご活用ください!

原則1箱単位(250枚)でのご注文を承りますが、それに満たないご注文の場合は事務局までご相談ください。

【ご注文は】
地元の骨髄バンク支援団体・または「特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会」へ
〒160-0005 新宿区愛住町23-1 Woody21 9F
TEL : 03-3356-8217
FAX : 03-3356-8637

※在庫がなくなり次第終了です。ご注文はお早めに!

第63回 理事会報告

7月16日(日)
全国骨髄バンク推進
連絡協議会事務局

〔4、5、6月会計報告〕
〔協議事項〕

- 名義後援、承認案件
- 全国大会総括
- 理事・事務局員役割分担
- 大谷会長講演関連
- 資金獲得
- 役員選挙
- 冊子「白血病と言われたら」在庫切れ間近への対応
- コンクール受賞作品の今後の取扱
- 「ごあんない」増刷
- ウェブ関連(事務局宛メール)

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●ドナー登録25万人を達成
平成4年(1992)1月のドナー登録受け付け開始から、14年6ヶ月でドナー登録者が251,040人に達したことに伴い、7月7日にプレスリリースが行われました。また、7月5日には骨髄移植例数が累計で7500例となりました。月間の移植例数は、今年の3月の100例が最多でしたが、6月は104例となり過去最高を記録しました。

●組織運営検討会議からの答申
昨年、新聞等のメディアやボランティア団体から財団の組織運営、職員の退職、患者負担金等の問題点が指摘されました。財団では、組織運営上の問題を洗い出し、その改善策を検討するため、組織運営検討会議を設置し検討を重ねました。その答申では、職員の定着率の低さに注目し、原因のすべてを組織運営の問題とはできないものの、長期に継続して働くことのでき

ない阻害要因として、1職員の意識転換の遅れ、2財団運営に対する外部との意思疎通の不足、3人事・給与制度の問題、の3点を挙げ、それぞれの対応策が示されました。その中で、財団運営に関する関係者との意思疎通の強化策として、関係者とのコミュニケーションの強化と財団としての適切な意思表示が必要とされました。

●巨人軍原監督、上原投手がドナー登録
読売巨人軍の原辰徳監督に続いて、上原浩治投手がドナー登録を行いました。また、読売巨人軍は骨髄バンク応援プロジェクトの一環として、東京ドームの入口前広場のG-KINGやゲート内で骨髄バンクキャンペーンを行っています。G-KINGでは、イベントの合間に骨髄バンクに関するトークを行い、G-バンドの紹介と販売(収益金は骨髄移植推進財団へ寄付)を行っています。

●国際協力の現状・バンクを介しての2回提供者・DLI状況

		2006.4~6				~2006.6末
		登録患者数	全抗原適合*	コーディネーター数	移植数	累計移植数
海外ドナーから国内患者へ	NMDP(米国)	7	4	7	0	106
	BTCSCC(台湾)	9	6	5	1	23
	KMDP(韓国)	8	3	3	0	11
計						140
国内ドナーから海外患者へ	NMDP(米国)	27	18	27	1	8
	BTCSCC(台湾)	0	0	0	0	0
	KMDP(韓国)	53	39	35	0	118
	その他の国**	-	-	-	0	19
	計					145

●日本骨髄バンクの現状(平成18年6月末現在)

	5月	6月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,534	3,152	251,040	317,216
患者登録者数	184	180	3,286	20,825
骨髄移植例数	69	104	-	7,492
20歳未満ドナー	296	206	3,398	-
51歳以上ドナー	171*	99**	3,834***	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*51歳以上ドナーの延長数 **51歳以上ドナーの新規登録数 ***17年9月~

骨髄バンクNOW

骨髄バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
112-0106
0120-892-106

への対応、ウェブ内加盟団体HPのシステム等) 専従事務局員夏期賞与支給について

- キティティッシュ製作
- 情報誌9号進捗状況
- 不破中学校対応
- 財団関連報告

各地のたより

各地のたよりを 写真を添えて お寄せください。

釧路 チエロの音色に 誘われて

7月8日、今回で4回目となる土田英順チャリティコンサートが釧路で開催されました。

土田さんのご都合と会館のスケジュールから決定したこの日程がなんと地元神宮のお祭りと重なってしまい、ホールの周りはお祭りの露店に囲まれ、前の道路も車両進入禁止となつて



リピーターの多いコンサートですから、プログラムは少しかけクラシックファン向きの中級編となつており、チエロの土田さん、ピアノの矢崎さんともに演奏に力が入っておられる様子で、集まったお客様たちも本当に熱心に耳を傾けていただいております。第2部のアルゼンチンタンゴも聴き応えたっぷり、会場から出てこられるお客様たちの顔には満足感があふれておりました。(小川)

奈良 「火火」上映会と 講演会

前夜の雷雨もあがり、梅雨明けを思わせる強い日差しが7月16日、なら骨髄バンクの会では、天理青年会議所、奈良県立二階堂高校同窓会、天理市の協力の



ホールはほぼ満席(657名)となり、多くの観客が映画と講演に感動しました。

もと実行委員会形式で、神山清子先生を迎えて「火火」映画会と講演会を開催しました。ご存知の通りこの映画は、神山先生の半生と骨髄バンク創成期のようなすが描かれたもので、さらに講演会では映画の舞台裏を含め、骨髄バンク、ドナー登録の重要性についてお話いただきました。又、ロビーでは『いのちの輝き展』をパネル展示いたしました。

埼玉 ハッスルエイド2006 登録会

6月17日、さいたま新都心のけやき広場にて、小川直也さん率いるハッスルのイベントと並行して「ハッスルエイド2006」登録会が特設テントで行われました。

広場では、狂言師・和泉元彌さん、ハッスルのメンバーのインリンさんが、観客にドナー登録をアピールしました。

また、高知からは戸田浩司君支援会の村上さんと北村さんが

ができたことに、そして当日は二階堂高校の生徒会の皆さんがボランティアとして参加し、次へつながらる新しい力にも大いに満足できた1日でした。(井上)



女性デュオ「スーパード」の二人とともに参加して、登録を訴えました。イベントに参加した多くの若い人たちが特設テントを訪れ、最終的には61人の登録があり熱い登録会となりました。(山中)

大谷会長



走る

不破中学校3年E組では、4月から総合的な学習として「広げよう命の輪」をテーマに様々な活動を展開してきました。その中の「佐藤きち子患者支援基金」の募金活動で集めた募金を、先日行われた東京での総合体験学習で、会長の大谷貴子さんにお渡しすることができました。

衆議員第2議員会館の会議室で行われた贈呈式では、会長さんや野田聖子議員のお話から、命の尊さや自分たちの活動が人の役に立っていることを実感することができました。

今回の活動を通して、「自分たちは多くの人に支えられて生きているのだ」「自分にできることを一杯やってみよう」ということを学ぶことができました。



ガオの栽培を続け、白血病で苦しんでおられる患者さんを支えていこうと考えています。(岐阜県垂井町立不破中学校教諭 堀昭之)

リレー紹介

ボランティアの仲間たち

愛媛の巻

○吉良剛さん

「ありさん(※筆者、有吉さん)のこと、この前の骨髄バンクの呼びかけに活きた魚を配りました!」「えっ?」

愛媛の吉良剛さんと宮城在住の私のやり取りは1年余り。HPを通じて始まりましたが、吉良さんにとっては愛媛の会の皆さんの協力の下、ゼロからのスタートでした。

夏には説明員研修会で知り合った岡山・広島のと交流会を開きました。その写真を見た



私は「まるで学園祭ライブですね!」愛媛はそんな斬新な企画が一杯です!

「宮城もね、吉良さんの住む宇和島と同じ海の町でも頑張ってるから」と私も支部が結成された仙沼での活動の様子を送りました。「皆さん素敵なお友だちです。愛媛と宮城の間でもいつか会おう、そんな言葉がお互いの励みとなっております。」

今からの愛媛をみてくだささい!(愛媛県骨髄バンクドナーサポートクラブ 吉良美代子)

私たちが仲間、松平潤君こと潤君は活魚運搬をしている海の男です。

一言で言うと『よく食べ、よく飲み、よく喋る男』といった感じです。その潤君も入院生活を体験したことがあり、私たちの気持ちを理解してくれるひと



左が松平さん

ごんにちは募金箱

たにぐち薬局

(北海道釧路市)

郊外の街角にあるたにぐち薬局さんは、薬剤師でもある店主の谷口玲子さんが切り盛りされている小さなかわいいお店です。このお店で谷口さんは、一般のお薬の販売と病院の処方箋の調剤とをこなしています。募金箱はレジのすぐ横に置かれていたのですが、覗いてびっくり!!お金じゃなくてシールのような物が沢山入っていたので

その24



処方せん受付
保険薬局

す。これは商店街で発行しているスタンプで、スタンプがいらぬとおっしゃるお客様には募金箱に入れていただき、谷口さんが換金して募金になるのだそうです。なんだかとてもうれしくて、お話を聞きながら心が温かくなりました。出産の時はさい帯血の提供も考えてくださったという谷口さん。これからもどうぞよろしくお願いたします。(小川)

最新医療情報 その④

成人T細胞白血病の抗体療法

B細胞リンパ腫に対する抗体療法の中で、最も検討が進められているのはリツキサンという治療薬です。B細胞の表面に存在するCD20と呼ばれるタンパク質に対する治療薬です。

抗がん剤治療の後に再発した濾胞性リンパ腫の患者さんにリツキサンを週1回で4回点滴静注すると、50~60%の方で腫瘍が縮小することがわかりました。リツキサンは、他の抗がん剤と異なり、白血球や血小板を減らす副作用が弱いため、抗がん剤の投与量を減らすに化学療法と併用することができます。

ただし、リツキサンが有効なのはB細胞リンパ腫のみで、T細胞リンパ腫やNK細胞リンパ腫には無効です。

そこで、T細胞リンパ腫の代表の一つである成人T細胞白血病(ATL)にインターロイキン-2レセプター(IL-2R)に対する抗体療法が考えられてきました。IL-2Rは、分子量70kdのp70(β鎖)と分子量55kdのTac抗原(α鎖)と呼ばれている2種類のサブユニットからなる蛋白で、成人T細胞白血病や川崎病、リウマチやSLEなどの自己免疫疾患において活動性を示すマーカーとなります。抗体とは抗原に対して特異的に結合できるタンパク質で、免疫グロブリンと呼ばれます。

ある抗原に対して特異的な単一の抗体をモノクローナル抗体と呼びます。

そこで成人T細胞白血病の細胞表面抗原であるIL-2Rのα鎖に対するモノクローナル抗体を作り、治療が行われています。その結果、一部の症例が完全寛解したという報告があります。

現段階では、モノクローナル抗体は全身投与すると肝臓などの臓器に集積し、腫瘍組織への特異的な集積の低下が認められています。また、モノクローナル抗体はマウスなどの動物を使って作製されますので、これを患者さんに投与すると異種由来のモノクローナル抗体に対する患者さん自身の抗体(ヒト抗マウス抗体)が産生されてしまい、2回目以降の投与ではモノクローナル抗体が体内から除去されやすくなるために、効果が激減したり、アナフィラキシーショック(異種のタンパクを投与することによるショック症状)がおこる可能性があるなどの問題点があります。そこで、ヒト型抗体の作製などの試みがなされています。

急性型ATLの治療成績は依然として悲惨で、G-CSFを加えた多剤化学療法でも50%生存期間は約1年にすぎませんので、抗体療法をはじめ、次世代の治療法が期待されています。